

課題事例

学年	教科	単元
第1学年	国語	資料から得た根拠をもとに意見文を書く
目標	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。 〈知識及び技能〉	

1. 本時の課題

三尻中の2つの防寒着の共通点と相違点を明らかにした意見文を書こう。

○学習活動

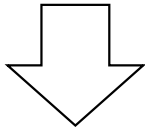
- ・具体的な場面を提示し、ベン図の使い方を知る。

三尻中学校では、防寒着としてウインドブレーカーとコートを着ることが許可されています。2つの防寒着の共通点と相違点を明らかにしながら、それぞれの良さを1年生に説明したいと考えています。

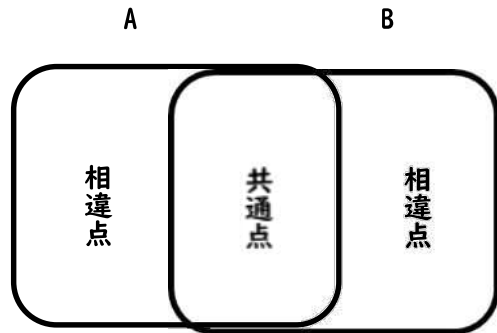
共通点と相違点を明らかにするためには、どのような方法を使えば良いでしょうか。

ベン図の使い方

- ①比較する2つのものを用意する。
- ②観点を意識しながら、共通点と相違点を分類する。



- ・意見文を書く。



2. 教科・日常生活との繋がり

学年	教科・行事	単元名・内容
全学年	全教科	思考ツールの使い方

課題事例

学年	教科	单元名
第3学年	国語	実用文を読む
目標	文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方を捉えることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉	

1. 学習課題

実用文にはどのような特徴があるだろう。


○ あなたは「くまなびスクール」に参加することにしました。この文書を読むことで把握できる情報を挙げなさい。また、その情報がなぜ必要なのかをわかりやすく説明しなさい。

くまなびスクール参加者募集案内 令和5年度

熊谷市では、学力日本一を目指して、無料の補充学習教室を市内全小中学校を会場に実施しています。ぜひ「くまなびスクール」に参加し、一緒に学習しましょう。

「くまなび」の4つの魅力

- 1 「家庭学習がなかなか習慣化しない」、「家に帰ってしまとなかなか勉強できない」という悩みを解決します。
- 2 退職した教員が蓄積した指導技術と経験を活用して、学習を支援します。また、大学で学ぶ学生や熱意のある学習支援員がみなさんの学習を支援します。
- 3 講義形式ではなく、児童生徒の皆さんが教科書や問題集等を持参し、分からないところ等を質問していくという学習スタイルです。苦手な内容、疑問に思った内容などを個別に質問できます。ぜひ、積極的に質問してください。
- 4 市内の小中学生なら誰でも無料で参加できます。



活動回数	中学校 週1回程度、1回2時間、年間30回以内 小学校 週1回程度、1回1時間、年間20回以内 ※ 曜日、時間帯は、各会場によります。
内容	児童・生徒は問題集等を持参し、分からないところ等を質問する。
教科	主に国語・算数数学・英語
対象生徒	市内すべての小中学生が参加可能です。多くの児童生徒の参加を待っています。
学習支援員	(1) 退職教員 (2) 学生 (3) 市報等による一般公募
会場	各小中学校
参加者の声	<p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまなびスクールがなかったときは、土曜日の午前中に部活が終わると、午後は家でテレビやゲームをしていて、だらだら過ごしてしまうことが多かった。でも、今は、土曜日の午前中に部活が終わると午後からは、くまなびスクールに参加して2時間学習しているので、時間を有効に使えている。特に、定期テスト前にくまなびスクールがあり、わからないところをすぐ教えてもらったので、よかった。 ・気軽に学習支援員や友達に質問できるので、とても楽しく勉強ができました。 <p>【小学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強が嫌いだったけどくまなびスクールのおかげで好きになりました。わからないことがわかりうれしかったです。家でも勉強をがんばろうと思います。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	单元名・内容
第2学年	職場体験学習	業務における通知文
全学年	日常生活	実用文（実際に役に立つ文章）

課題事例

学年	教科	单元名
第3学年	国語	実用文を読む
目標	文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方を捉えることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉	

1. 学習課題

実用文にはどのような特徴があるだろう。


○ あなたは「くまなびスクール」に参加することにしました。この文書を読むことで把握できる情報を挙げなさい。また、その情報がなぜ必要なのかをわかりやすく説明しなさい。

くまなびスクール参加者募集案内 令和5年度

熊谷市では、学力日本一を目指して、無料の補充学習教室を市内全小中学校を会場に実施しています。ぜひ「くまなびスクール」に参加し、一緒に学習しましょう。

「くまなび」の4つの魅力

- 1 「家庭学習がなかなか習慣化しない」、「家に帰ってしまとなかなか勉強できない」という悩みを解決します。
- 2 退職した教員が蓄積した指導技術と経験を活用して、学習を支援します。また、大学で学ぶ学生や熱意のある学習支援員がみなさんの学習を支援します。
- 3 講義形式ではなく、児童生徒の皆さんが教科書や問題集等を持参し、分からないところ等を質問していくという学習スタイルです。苦手な内容、疑問に思った内容などを個別に質問できます。ぜひ、積極的に質問してください。
- 4 市内の小中学生なら誰でも無料で参加できます。



活動回数	中学校 週1回程度、1回2時間、年間30回以内 小学校 週1回程度、1回1時間、年間20回以内 ※ 曜日、時間帯は、各会場によります。
内容	児童・生徒は問題集等を持参し、分からないところ等を質問する。
教科	主に国語・算数数学・英語
対象生徒	市内すべての小中学生が参加可能です。多くの児童生徒の参加を待っています。
学習支援員	(1) 退職教員 (2) 学生 (3) 市報等による一般公募
会場	各小中学校
参加者の声	<p>【中学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまなびスクールがなかったときは、土曜日の午前中に部活が終わると、午後は家でテレビやゲームをしていて、だらだら過ごしてしまうことが多かった。でも、今は、土曜日の午前中に部活が終わると午後からは、くまなびスクールに参加して2時間学習しているので、時間を有効に使えている。特に、定期テスト前にくまなびスクールがあり、わからないところをすぐ教えてもらえたので、よかった。 ・気軽に学習支援員や友達に質問できるので、とても楽しく勉強ができました。 <p>【小学生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強が嫌いだったけどくまなびスクールのおかげで好きになりました。わからないことがわかりうれしかったです。家でも勉強をがんばろうと思います。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	单元名・内容
第2学年	職場体験学習	業務における通知文
全学年	日常生活	実用文（実際に役に立つ文章）

授業事例

学年	教科	单元名
第2学年	社会	現代の民主政治 選挙の課題と私たちの政治参加
目標	選挙と国民の政治参加との関連について、「模擬選挙」の活動を通じ、現代社会にみられる課題の解決に向けて、主体的に社会に関わろうとしている。<学びに向かう力、人間性等>	

1. 学習課題

<p>学習課題：生徒会選挙を例に、投票をする際に大切にしたいことはなにか考えよう。</p>							
○授業の展開	○ワークシート						
<table border="1"> <tr> <td style="width: 10%;">導入</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●生徒会選挙における立候補者の主張の共通点と相違点を比較する。 ●主張の違いから、理想の政治は個人によって違うことを認識し、国政に置き換えたうえで、日本の政治に争点について本時で考えることを説明する。 </td> </tr> <tr> <td>展開</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○「マイ争点」を2つ選ぶ。 ○選んだ「マイ争点」に対し、どのような政策をとってほしいかを考える。 ○「マイ争点」をもとに、各政党の政策を比較し、投票する政党を決める。 </td> </tr> <tr> <td>まとめ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○授業を通じて、学習課題に対しての、自分の考えをまとめる。 ○自分の考えを他者と共有し、学習課題に対する多様な考えに触れる。 </td> </tr> </table>	導入	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会選挙における立候補者の主張の共通点と相違点を比較する。 ●主張の違いから、理想の政治は個人によって違うことを認識し、国政に置き換えたうえで、日本の政治に争点について本時で考えることを説明する。 	展開	<ul style="list-style-type: none"> ○「マイ争点」を2つ選ぶ。 ○選んだ「マイ争点」に対し、どのような政策をとってほしいかを考える。 ○「マイ争点」をもとに、各政党の政策を比較し、投票する政党を決める。 	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を通じて、学習課題に対しての、自分の考えをまとめる。 ○自分の考えを他者と共有し、学習課題に対する多様な考えに触れる。 	<p>『18歳へのステップ ～選挙に参加しよう～』</p> <p>(1) あなたが大切だと思う争点は？(2つ)</p> <p>①経済政策 ②社会保障 ③コロナ対策 ④子育て・教育 ⑤外交・安全保障 ⑥エネルギー・環境 ⑦憲法 ⑧ジェンダー・多様性</p> <p>(2) (1)で選んだ争点を重視するのはなぜ？ また、それらの争点について、あなたは政治にどんなことを求める？</p> <p>■マイ争点①「 _____ 」</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>■マイ争点②「 _____ 」</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>(3) 学習課題に対する、あなたの考えは？</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会選挙における立候補者の主張の共通点と相違点を比較する。 ●主張の違いから、理想の政治は個人によって違うことを認識し、国政に置き換えたうえで、日本の政治に争点について本時で考えることを説明する。 						
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○「マイ争点」を2つ選ぶ。 ○選んだ「マイ争点」に対し、どのような政策をとってほしいかを考える。 ○「マイ争点」をもとに、各政党の政策を比較し、投票する政党を決める。 						
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を通じて、学習課題に対しての、自分の考えをまとめる。 ○自分の考えを他者と共有し、学習課題に対する多様な考えに触れる。 						
○活用する教材、資料							
<ul style="list-style-type: none"> ・WEB サイト <ul style="list-style-type: none"> ・NHK 選挙 WEB 各政党の公約 (2022 参院選) ・政治山 重点政策、公約比較表 (2022 参院選) ・道具 <ul style="list-style-type: none"> ・投票箱 (実際に使用されている投票箱) ・投票用紙 (実際に使用されているユポ紙) 							

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	单元名・内容
全学年	日常生活	選挙

課題事例

学年	教科	単元名
第1学年	数学	変化と対応
目標	比例として捉えられる2つの数量について、表・式・グラフを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見出すことができる。(思・判・表)	

1. 学習課題

田口さんは、総合的な学習の時間に環境問題について調べています。調べたところ、世界が目指す持続可能な開発目標（SDGs・エスディージーズ）として、17の目標の中に「安全な水とトイレを世界中に」という目標があり、限りある水資源について知りました。

田口さんの班では、この目標に対してできることはないかを話し合い、節水に取り組むことにしました。ほかの学校の取り組みを調べたところ、A中学校のホームページを見つけました。

A中学校のホームページにあった情報

私たちの取り組みの成果

参加した生徒数 50人

取り組み期間 31日間

家庭での節水量の合計 7000ℓ

水7000ℓ = 水2ℓのペットボトル3500本分で、

1人あたり1日に使用する量約214ℓの約32倍に相当する。(令和元年度調査より)

そこで、田口さんの学級30人で、「7000ℓの節水」を目標とすることにしました。この学級の目標を達成するために、できる節水の取り組みと節水量について調べました。

過程での水の使用量

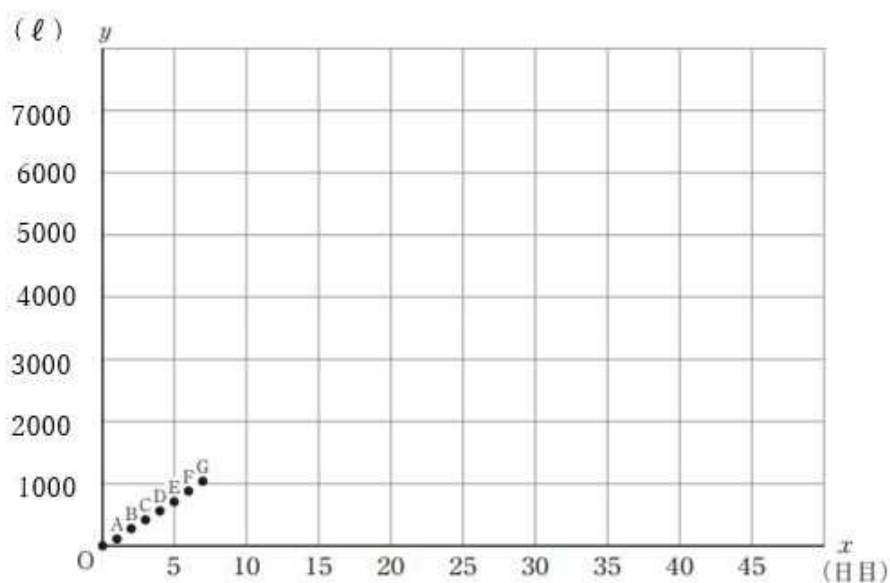
取り組み	節水量
コップにくんだ水で歯磨きする	1日あたり約5ℓ
トイレの水を流すときに大小のレバーを使い分ける	1回あたり 大小の差が約8ℓ
食器を洗いおけですすぐ	1分あたり約19ℓ
シャワーを使っていないときは止める	1回あたり約50ℓ
お風呂の残り湯を半分掃除・散水に使う	1日あたり約90ℓ
⋮	⋮

そして、家庭でできる節水の取り組みの中から、生徒それぞれの家庭でできることを選んで取り組むことにしました。その取り組みの成果について、1日ごとの学級30人分の節水量をもとに、その日までの節水量の合計を記録することにしました。取り組みを始めた日の前日を0日目とし、 x 日目までの節水量の合計を y kg として、次のように表にまとめ、表の x と y の値の組を下のグラフに表しました。

節水量の合計の記録

x (日目)	0	1	2	3	4	5	6	7
y (ℓ)	0	149.6	302.9	452.1	599.5	751.4	902.3	1054.2

※ y の値は小数第2位を四捨五入



田口さんは、7日目までの取り組みの結果から、目標を達成できるのがおよそ何日目になるかを予測することにしました。そこで、下の節水量の合計の記録のグラフにおいて、原点Oから点Gまでの点が一直線上にあるとし、このまま同じように取り組みを続け、節水量の合計が一定の割合で増加すると仮定して考えることにしました。

目標の7000ℓ節水を達成できるのがおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。
ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
全学年	日常生活	SDGs
第2学年	社会	地理－日本の様々な地域
第3学年	理科	地域と私たちの未来のために

課題事例

学年	教科	単元名
第3学年	数学	標本調査
目標	簡単な場面について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 <思考力、判断力、表現力等>	

1. 学習課題

ある日、塚田さんと田口さんは図書委員会の仕事で「三尻中学校の生徒の本に対する意識調査」をすることになりました。

三尻中学校 BOOK アンケート

1. 読書は好きですか？

はい いいえ

2. 1日にどれくらいの時間本を読みますか？（10分単位でお答えください）

A. 分

3. 次の中で好きなジャンルはどれですか？（1つだけ選んでください）

①SF ②推理 ③恋愛 ④スポーツ ⑤政治・社会 ⑥勉強 ⑦その他

ご協力ありがとうございました。
三尻中学校 図書委員会

塚田さん「早速全校生徒に質問するためにアンケート用紙を全員分用意しよう！」

田口さん「そうだね…。でも、全校生徒は495人いるんだよね。全員分のアンケートを用意したり集計したりするのは少し大変じゃない？」

塚田さん「でもそれ以外に三尻中学校の生徒の意識調査をする方法ってあるのかな？」

発問：三尻中学校を調査しよう

●学習活動

- ・ 標本調査が有効であることを確かめる。
- ・ 実際にアンケートを作成する。（グループ学習）
- ・ 実際にアンケートを行う。（グループ学習）
- ・ アンケートを集計し、調査書の作成・発表をする。（グループ学習）

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第2学年	総合	キャリア教育
全学年	日常生活	アンケート、調べ学習

課題事例

学年	教科	単元
第1学年	理科	いろいろな生物とその共通点
目標	自分の食べているものが、どんな生物かを知り、その共通点や相違点を見いだすとともに身のまわりの生物への意識を高める。<思考力、判断力、表現力等>	

1. 学習課題

給食の材料をたどると、どんな動植物にたどりつくだろうか？

●主な教育活動

①植物の分類、動物の分類について確認する。

被子植物 裸子植物 双子葉類 単子葉類

セキツイ動物 無セキツイ動物 魚類

ホニュウ類

②昨日自分たちが食べた給食の中にどんな生物が入っているか、献立表を見ながら確認する。



例) パン → 小麦 → 被子植物 単子葉類

アジフライ → セキツイ動物 魚類

ゴーヤ → 被子植物 双子葉類

イカ → 無セキツイ動物 → 軟体動物 ブタ → セキツイ動物 → ホニュウ類

カニ → 無セキツイ動物 → 節足動物 → 甲殻類

③普段食べている生物には、どんな共通点や相違点があるか、話し合い、発表する。

- ・植物は果実や種子を食べているから、ほとんど全て被子植物だろう。
- ・セキツイ動物は、両生類とハチュウ類は、あまり食べない。
- ・無セキツイ動物は、軟体動物がほとんど。
- ・海の生物は、食べられるものが多い。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
全学年	特別活動	給食

課題事例

学年	教科	単元
第3学年	理科	5. 地球と私たちの未来のために
目標	SDGs 達成の為に、一市民としてこれからどのような視点で環境・社会を見るのか、さらに、どのように環境・社会とか関わっていくのかについて、他者との交流を通して考える。また、科学的な考察を経て、環境・社会とのかかわり方について、判断する。<思考力、判断力、表現力等>	

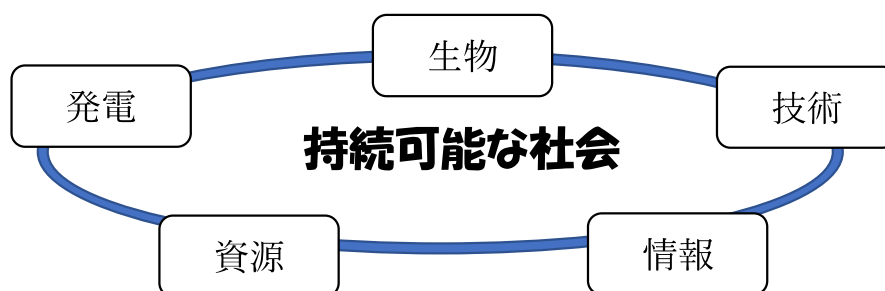
1. 本時の課題

30年後の社会のために

私たちはどのようにかかわればよいだろうか。

主な学習活動

- ① 個人が作成したレポートをグループ内で発表し、そこで「社会とどうかかわるか」を提案する。
- ② ①の発表に対して、グループ内で質問や意見交換を行う。
- ③ グループの全メンバーについて、①②を行う。
- ④ グループ内で出た「社会とどうかかわるか」をホワイトボードにまとめる。
- ⑤ グループで出た提案について、ホワイトボードを用いて、クラス全体に発表する。
- ⑥ 発表を聞いて、クラス全体で短い質疑を行う。
- ⑦ 全グループについて、⑤⑥を繰り返す。
- ⑧ クラス全体の討議に参加し、「社会とどうかかわるか」について個人の考えをまとめる。



Point!

- △ 受験用の学力を伸ばすではなく、将来を担う市民の素養を育むという視点で考えさせたい。
- △ 生徒のレポートのテーマは多様になることが予想される。多様なテーマ・視点で社会とかかわることが可能であることを生徒に促す。
- △ 作成したレポートは今までの学習の履歴として価値がある。

2. 教科・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
全学年	道徳	集団や社会とのかかわり
第2学年	社会	SDGs

課題事例

学年	教科	単元
第1学年	音楽	箏に親しもう
目標	箏で「さくらさくら」を演奏する。<知識及び技能>	

1. 本時の課題

お正月で、テレビや街中で流れていた音楽を思い出させる。
箏曲「春の海」から、八橋検校や箏の歴史について触れる。

箏に親しもう

- ・ 箏の歴史や基本的な知識（柱や爪など）及び奏法（わり爪、かき爪、すくい爪など）を学ぶ。
- ・ 平調子を知る。
- ★音の発音原理、弦の長さとおのの高さの関係について触れる
- ・ 「六段の調」の鑑賞をする。
⇒序破急について知る。
- ・ 生活班に分かれて実際に箏を弾いてみる。

準備する物

箏6面、爪2セット×6班分

【第1、2時ワークシート】

日本の伝統的な楽器「箏」に親しもう！

1年 組 番 氏 名 _____

1. 「箏」について知ろう！

・ 箏は「こと」とも、「 _____ 」とも呼びます。

・ 箏は（ _____ ）時代に、偶然に用いられた楽種のひとつとして（中国）から伝来しました。箏は通常、桐の木で作った胴に（ _____ ）本の弦を張り、弦は、奏者の肩こうから手前に向かって、一 二 三 四 五 六 七 八 九 十（ _____ ）（ _____ ）（ _____ ）と並びます。

写真のような「 _____ 」と呼ばれる駒を動かして音の高さが調節できるようになっています。右のものは18番目の駒に使うので「 _____ 」といいます。

箏の各部の名称は季全体を（ _____ ）の要になぞらえてつけられています。

・ 「箏」に使われる爪には2種類あり、角爪は（ _____ ） 爪、丸爪は（ _____ ） 爪の2つの流派からなります。みんなが授業で使用するのは（ _____ ） 爪です。

・ 角爪で演奏すると空は左の舟で弦をはじくため、体を左斜め前にして弾きます。一方、丸爪の演奏では、爪の中心で弦をはじくため、体は正面を向いたまま演奏します。

爪や紐の写真

2. 箏曲「六段の調」を鑑賞しよう！

作曲者 _____ （1614～1685）

江戸時代の始め、落書集に生まれたといわれています。大阪や江戸で三味線と箏を学び、25歳の落書集により、練成となりました。（目の見えぬ音楽家の真実の頁です！）平調子という調弦法を確立するなど、箏曲の発展にさまざまな功績を残しました。

★速さが別と比べて、「1速くならぬ 一疾わらぬい」1速くならぬ 疾書きしもう。

初段	二段	三段	四段	五段	六段

段とは、文章の段落のようなもの。

このような日本音楽独特の演奏の変化を _____ といいます。

●箏曲の長さや難力を考えよう。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第1学年	理科	音
全学年	日常生活	お正月の音楽

課題事例

学年	教科	単元
第3学年	音楽	ルールを守って音楽を楽しもう
目標	音楽を楽しむためのルールを学ぼう。<知識及び技能>	

1. 学習課題

スマートフォンなどで、音楽をダウンロードしたり、Youtube やストリーミング再生で音楽を楽しんだり、SNS に好きなアーティストの音源をアップして使ったり、子どもたちの身近なところにある音楽について、改めて理解をさせる。

ルールを守って音楽を楽しもう

①〇×クイズ

借りた CD をダビングして家族で聴いた
 借りた CD をダビングして友だちに貸した
 先生が授業で使うために、歌詞や楽譜をコピーして生徒に配る
 アーティストを応援するため、歌詞を自分の HP にアップする
 などの事例について、〇or×で答える。

★身近な音楽について様々な権利があり、それらを守ることが音楽を楽しむ上では必要なことを説明する。

②年間 CD 売り上げランキング、デジタルシングルランキング、ストリーミング再生ランキングなどを用いて、音楽との関わり方の多様性を知り、それらの違いを分析する。

③音楽が生み出される仕組みを理解し、今後の生活においてルールを守って音楽と付き合い合っていくようにする。

音楽 っていくら？ 令和の音楽事情から学ぼう

① 正誤 正誤 正誤

◆2019年度1位売上の多かったアーティストは？
 () が 200 億円超えで 18 年ぶりの 1 位に () を抜いた。ちなみに 2 位は乃木坂 46 でした。

デジタルシングルランキングは () が 1 位、2 位を () が、ストリーミングランキングはアーティストで () が、楽曲で () の () 。

◆2019 年度の CD 売上のトップ 5 は？
 第 1 位 嵐 46 億 4400 万円
 第 2 位 乃木坂 46 37 億 8000 万円
 第 3 位 乃木坂 46 「We Are!」 15 億 9000 万円
 第 4 位 乃木坂 46 「僕だけが強くて可愛い」 12 億 9000 万円
 第 5 位 乃木坂 46 「僕が 1 年」 9 億 2000 万円

→ 上記の数字から、2019 年に売られる音楽界の特徴は？
 _____ 度です。

◆歌う人はいくらもいるの？
 歌手は CD 売上の約 () % を占める。
 例えば、嵐の CD 売上の約 () % を占める。

例の約 () % だが、CD 売上が減り、_____ 度です。

CD 制作に関わる多くの人を養っているのは、_____ 度です。

知的所有権とは無関係のもの、特にアイデアや音楽による無形財産、表現などに付随する権利のこと。著作権は知的所有権の一つで、特に創作の過程による創作の保護を保障する権利である。

② 〇×の理由を説明しよう。

CD を作る・貸す・売る・借り・複製する・盗む

◆それぞれの行為が何に課税されるの？

行為	課税	「課税」の理由
①	著作権・パブリック	
②	著作権・貸借権	著作権・貸借権
③	レコード著作権	レコード著作権
④	音楽出版権	Sound Power 音楽出版社
⑤	CD レンタル	
⑥	著作権	

CD の盗録は、それを複製する権利が本人に付する財産です。盗み取りやコピー、アーティストが自分の CD を売れなくなったり、違法した人が罰せられる可能性があります。

◆カラオケの仕組み？
 カラオケの仕組みでアーティストが得られる収入は 1 曲あたり 1〜3 割と書かれています。原曲 1 曲 1 円だとしたら、月に 100 曲歌えば 100 円の収入になります。カラオケに書かれている曲が 10 曲あるとして、同じように月に 100 曲歌われていると 1000 円の収入です。後が歌われる曲は、原曲に入ります。
 日本のお客がカラオケで歌った年間 4000 万円、もし、1 人が 1 曲ずつ歌うとしたら、1 曲 1 円だとしたら、年間 4000 万円の収入が得られる可能性があります。

◆これは大丈夫？
 やっていいかどうか、法律に違反しているかどうかを書き入れ、自分の考えを説明しよう。

	〇	×	理由の書き方
1 借りた CD をダビングして家族で聴いた			
2 借りた CD をダビングして友だちに貸した			
3 先生が授業で使うために、歌詞や楽譜をコピーして生徒に配る			
4 アーティストを応援するため、歌詞を自分の HP にアップする			

◆この複製を通して著作権、これらを守るために注意しなければならない点を書き入れよう。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第3学年	技術	情報モラルと知的財産
第3学年	社会（公民）	個人の尊重と日本国憲法

課題事例

学年	教科	单元名
第2学年	美術	暮らしやすさのデザイン（鑑賞・工芸）
目標	・様々な立場の人が安全で暮らせるためのデザインの重要性に気づく。 <思考力、判断力、表現力等> ・自分の生活を豊かにするデザインを考え造る（粘土）。<知識及び技能>	

1. 学習課題

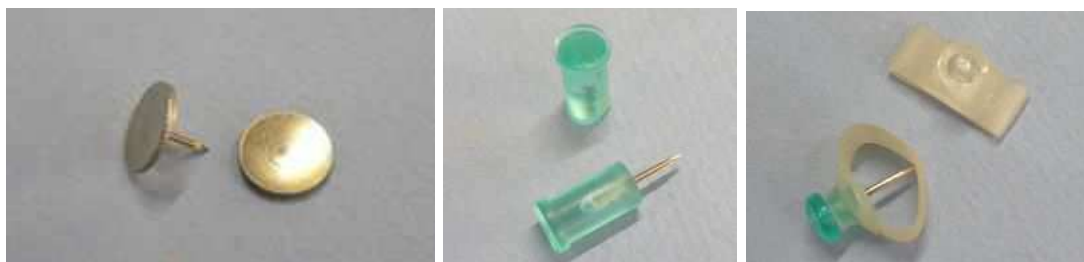
- ① デザインの工夫を見つけ、必要性を考える。
- ② 生活の中に利用されているデザインに気づく。
- ③ デザイナーになる。

④ デザインを基に粘土で制作する。

- ⑤ 作品を発表し鑑賞しあう。

●学習活動

- ① 画鋲の使い心地をグループで検証しデザインの工夫に気づく。
- ② 身の回りの製品は全て意図あるデザイン作品であることに気づき、気に入ったデザインの特性をレポートする。
レポートをグループで発表、クラスに紹介する。
- ① 自分の生活の中で使えるもののデザインを考えスケッチにまとめる。
- ② スケッチを基に粘土で制作する。
- ③ 作品を鑑賞しあう。



2. 教科等・日常生活との繋がり

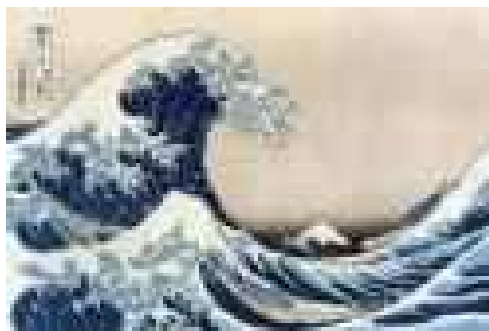
学年	教科等・行事	单元名・内容
第3学年	社会（公民）	第1章 現代社会と私たち
第3学年	家庭科	消費生活・環境

課題事例

学年	教科	単元名
第2学年	美術	浮世絵ってすごい
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国から見た日本らしさをきっかけに浮世絵の超絶技巧を知る。 ・《神奈川冲浪裏》を中心に葛飾北斎の作品を知る。 ・日本美術の良さに視点（外国から）を変えて気づき「ジャポニズム」を知る。 <p style="text-align: right;"><知識及び技能></p>	

1. 学習課題

- ①海外から来日する人びと（東京オリンピック・世界大会など）の視点では日本芸術＝浮世絵とイメージされていることを知る。
- ②浮世絵の技巧を知る。
- ③《神奈川冲浪裏》から葛飾北斎の技巧を知る。



●学習活動

- ①東京オリンピックに向けてフランスで作られたCMを鑑賞し、浮世絵の知名度の高さを知る。
- ②浮世絵の制作過程を知る。
- ③《神奈川冲浪裏》を鑑賞する。
 - ・こだわりの北斎ブルー（海外が認める色の呼び名）の美しさ
 - ・計算されつくした構図
 - ・美術作品への影響＝ジャポニズム
- ④北斎の様々な作品を観て多彩な才能と人生を知る。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第2学年	社会	社会江戸の化政文化（ジャポニズム）

課題事例

学年	教科	単元名
第3学年	美術	ルネサンスの巨匠
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・《モナリザ》の魅力を知る。<知識及び技能> ・ルネサンス期の美術作品の特徴に気づく。<思考力、判断力、表現力等> ・ルネサンスの3巨匠とその代表作品を味わう。<知識及び技能> 	

1. 学習課題

- ①《モナリザ》をめぐる様々な事件を振り返り、世界知名度 NO1 作品の魅力を探る。
- ②ルネサンス期の美術作品の特徴を知る。
- ③ラファエロの代表作品を観る。
- ④ミケランジェロの代表作品を観る。
- ⑤《モナリザ》以外のダヴィンチの多彩な作品を味わう。



学習活動

- ①《モナリザ》を鑑賞する
 - ・過去の様々な事件（知名度の高さ）
 - ・安定した構図 空気遠近法 スフマート技法 謎の微笑みの理由
- ②ラファエロ「小椅子の聖母」とルネサンス以前の宗教画を観て表現の違いに気づく。
- ③「ラファエロ」の代表作品の鑑賞をする。
- ④「ミケランジェロ」の代表作品の鑑賞をする。
- ⑤「ダヴィンチ」の多種多様な作品を知る。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第3学年	社会	ルネサンス

課題事例

学年	教科	単元
第1学年	保健体育	武道（柔道）
目標	あらゆる場面に対応して受け身がとれるようにする。<知識及び技能>	

1. 本時の課題

【日常生活の場面から】

Aは、自転車に乗り、友人の家に遊びに行った。音楽を聴きながら乗っていたため、前方の女性に気付かず接触しそうになりハンドを切ったところ、バランスを崩し転倒してしまった・・・

【課題提示】

もしもの時、自分の命を守れますか？
～自転車事故で転倒！命を守るための転び方は？～



自転車事故のイメージ
 できるようなイラスト等を用いる。

（課題についての補足）

- ・自転車事故で頭や体を強く打つことにより、大けがにつながったり、命を落としてしまったりすることがある。

【受け身の説明】

- ・柔道の受け身・・・自分の身を守るための基本動作。投げられた際に致命傷となる頭や内臓へのダメージを最小限にする。

→受け身の習得は、事故等で転倒した際に身を守るために役立てることができます。

【受け身の練習】

- ①もしも、後方に転倒したら→**後ろ受け身**
おしりを中心に円運動を描き、背中を丸めて（あごを引き、頭を上げあげ）床面を「バシン」と両方の腕全体でたたく。
- ②もしも、横方向に転倒しかけたら→**横受け身**
あごをグッと引き、下側の足を前方に、上側の脚を後方にして、両脚と倒れる側の腕全体で床面をたたく。

※正しい姿勢、組み方から崩しと体さばき等の基本動作と関連づけて、受け身の習熟を図る。

ステップアップ体育
 （大修館書店）
 P.246 参照

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
全学年	日常生活	安全な自転車の乗り方
第2学年	保健体育	傷害の原因と防止

課題事例

学年	教科	単元名
第2学年	保健体育	応急手当の意義と基本
目標	応急手当の一般的な流れや通報の仕方を理解することができる。<知識及び技能>	

1. 学習課題

Aさん、Bさん、Cさん、Dさんで下校中、胸の辺りを押さえて倒れている人をみかけました。また、その人は転んで出血もしています。私達に何が出来るか考えてみましょう。

●主な学習活動

- ① 応急手当について関係のある資料を見せ、2つの線の関係性を考えさせる。
 - ・ 救急車が到着するまでに一般的に8分～10分かかる。
 - ・ 時間が経つにつれてどのように変化していくか。
- ② 「応急手当 WEB 講習—総務省消防署—」の動画を見せて応急手当の流れを確認する。
- ③ 4人組で、応急手当の流れを実践する。 重点
 - ・ 傷病者発見→意識の確認→反応なし→近くにいる3人に役割分担
役割：「AEDを持ってくる。」「救急車を呼ぶ」「一緒に心肺蘇生を行う」
 - ・ それぞれローテーションして全ての役割を経験させる。
- ④ きずの手当の基本を学ぶ。(直接止血法)

中学保健体育
(学研)
P122 資料1 参照

- 使用する用具 電子黒板、教科書、ノート、心肺蘇生トレーニングキット

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
全学年	日常生活	事件や事故に遭遇した場合 授業中の友達の怪我 家庭内での怪我、事故

課題事例

学年	教科	単元
第2学年	技術・家庭（技術分野）	電気機器の安全な利用
目標	電気機器の保守点検と事故防止に必要な知識を身につけ、生活に活かせるようにする。<知識及び技能>	

1. 本時の課題

電気機器を安全に使う方法を知り、生活の中で活かそう。

○学習活動

- ・ 部屋内での電気機器（テーブルタップ）の配置図を見る。
- ・ 危険を回避するために改善することを考える。
- ・ 安全に使用するために必要なことを知る。
- ・ 保守点検の大切さを知る。
- ・ 自分の部屋などに危険な箇所がないか考える。

・ テーブルタップやケーブルなどの危険な使い方の例を示す。

- ①コードやケーブルをきつく束ねている。
- ②コードやケーブルが机や本棚などの重い物の下敷きになっている。
- ③たこ足配線で、消費電力が多い機器を同時に使っている。
- ④コンセントと電源プラグの間にほこりが溜まっている。

①～②は、コードやケーブルが熱を持ち、過熱やショートなどの事故に繋がってしまう。

③は、電流の定格値を超えてしまうと、発火の危険性が高くなる。

④は、ホコリと湿気が原因でスパークを起こしトラッキング現象に繋がってしまう。

- ・ 身近に使っている物が、大きな事故に繋がることを改めて知り、まとめる。
- ・ 今回の授業を振り返り、自分の家で活かせることを考える。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
全学年	日常生活	電気機器の事故防止

課題事例

学年	教科	単元名
第3学年	技術・家庭（技術分野）	情報セキュリティーと情報モラル
目標	情報セキュリティーの重要性と危険を防ぐための技術を知る。<知識及び技能>	

1. 学習課題

不正アクセスやコンピュータウイルスの被害に遭わないためにできることは何だろう。

○学習活動

- ・ コンピュータウイルス関連の被害について調べる。
(乗っ取り、情報漏洩、詐欺、メールの中継基地にされる)
- ・ 調べたことを参考に、自分が被害に遭う可能性があることを知る。
- ・ 自分をコンピュータウイルスから守る方法を調べる。
- ・ パスワードのセキュリティーレベルを上げる方法を知る。
(自分が覚えられる物で作る。自分に関連している情報で作る際は、工夫をする。)
- ・ 例を示す

※名前と誕生日でパスワードを構成する際の例

①kazuki1120←セキュリティーレベルが低い

②1KA1zu2ki0←セキュリティーレベルが高い

- ①のパスワードは、名前と誕生日をただ並べただけなので、SNS 等でアカウントを調べればわかってしまう可能性が高いので、アカウントに不正アクセスされてしまうリスクが上がる。
- ②のパスワードは、①と同じく名前と誕生日で構成されているが、アルファベットと数字を組み合わせたり、一部を大文字にしているので、個人情報がわかったとしても簡単に不正アクセスされるリスクが減る。

- ・ 不正アクセスやコンピュータウイルスの被害に遭わないためにできることについてまとめる。
- ・ パスワードを設定する際に、セキュリティーレベルを上げる方法についてまとめる。

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第3学年	日常生活	情報セキュリティー アカウントの管理

課題事例

学年	教科	単元名
第1学年	技術・家庭（家庭）	有能シェフになろう
目標	食品を適切に購入することができる。<思考力、判断力、表現力等>	

1. 学習課題

商品を適切に購入するためには、どこをチェックしたら良いだろうか。

A子は、明日のお弁当に入れる食材をスーパーに買いに行きました。

「野菜」は新鮮で色つやの良いものを選びました。

「肉」は賞味期限や部位、内容量に気をつけながら選びました。

最後に、「ウィンナー」や「冷凍コロッケ」等の加工食品コーナーにきた時あまりに種類があるので、選ぶのに困ってしまいました。

発問：商品を適切に購入するためには、どこをチェックしたらよいだろうか。

●学習活動

①品質表示を知る

・原材料（食品添加物） ・賞味期限 ・保存方法 等

②食品添加物を知る

③商品購入の際の留意点が見える

名称	ウィンナーソーセージ
原材料名	豚肉、豚脂肪、結着材料（でん粉、植物性タンパク）、食塩、砂糖、香辛料、調味料（アミノ酸等）、酸化防止剤（ソルビン酸）、リン酸塩（Na）、p h調整剤、発色剤（亜硝酸 Na）、（原材料の一部に大豆を含む）
内容量	200g
賞味期限	●●年●●月●●日
保存方法	10℃以下で保存
製造者	●●株式会社 ○○県○○市○○123

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第 学年		

課題事例

学年	教科	単元名
第2学年	技術・家庭（家庭）	つなげよう和服の文化
目標	和服の文化に興味を持ち、和服の着方を知る（思・判・表）	

1. 学習課題

和服の文化を知り、着方を身に着けよう。

AさんとBくん夏祭りは行くことになりました。

夏祭りにはどのような服装がふさわしいかをAさんとBさんが話し合っています。

Aさん 『夏まつりといえば浴衣だね？』

Bくん 『女の人は浴衣を着ている人がたくさんいるけど男の人も着ていいのかな。』

Aさん 『もちろん着ていいと思うよ。お相撲さんが着ているところを見たことあるわ。』

Bくん 『たしかに、お相撲さんや旅館で浴衣を着ている人を見たことがあるなあ。』

Aさん 『じゃあ夏祭りは浴衣で決まりだね。でも、浴衣は一人で着られるかな？』

Bくん 『たしかに難しそう。一枚の布をどうやって体に身に着けているのかな？』

発問：和服の文化を知り、一人で浴衣を着付けてみよう

●学習活動

- ①和服のつくりについて知る
- ②浴衣の着付けをペアになり実際にやってみる
- ③和服の良さに気づき、伝承しようとする心を育む



2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第2学年	社会	国風文化

課題事例

学年	教科	単元名
第3学年	技術・家庭（家庭）	賢い消費者になろう
目標	購入した商品にトラブルが発生した時、その対処方法がわかる（思・判・表）	

1. 学習課題

トラブル発生！ さぁどうする？ 自分の意見を発信しよう。

昨年4月に買ったばかりのゲーム機が故障した。一緒に買った弟や友達のゲーム機も故障。トラブル原因は使用方法にではなく、商品自体にあるのではないかと考えたA子は、消費者センターに連絡することにした。

発問：トラブル発生！ さぁどうする？ 自分の意見を発信しよう

●学習活動

①消費者センターに伝えることは

- ・トラブル発生時の状況
- ・トラブル前までの様子
- ・使用状況
- ・現在の様子
- ・どうして欲しいか 等

②①の時、手元に用意しておくものは

- ・スマートフォン本体
- ・本体が入っていた箱
- ・取扱説明書
- ・保証書
- ・領収書（レシート） 等

③ロールプレイングで練習してみる

④消費者センターの仕事や役割を知る

- ・商品の改善
- ・事故原因の究明
- ・消費者への情報提供

⑤意見を発信したことで、今までに改善された商品の例を知る

- ・シャンプー等詰め替え製品
- ・食品容器や表示
- ・衣料品のタグ など

⑥意見発信 → 社会を変える力になる

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第3学年	社会	消費生活と市場経済

課題事例（案）

学年	教科	単元名
第1学年	英語	外国人と英語で話そう
目標	外国人に、「熊谷」について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。（思・判・表）	

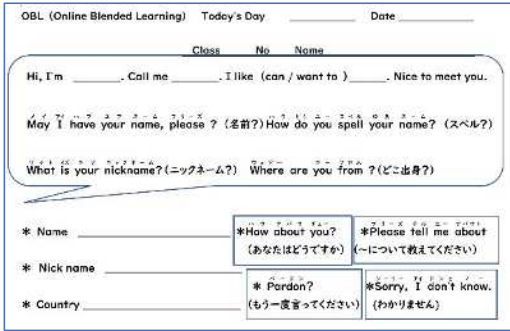
1. 学習課題

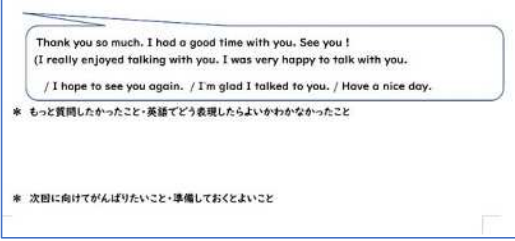
外国人と英語で話そう ～熊谷を紹介しよう～

- ①教p132 学校行事の紹介ページを作ろうのページで英語での紹介の仕方を学ぶ。
- ②タブレットを使って、熊谷の特産物や年間行事を調べる。
- ③英文でどのように紹介するかをノートに原稿を書く。
- ④ノートの英文を生徒同士がチェックする。
- ⑤ノートの英文をALTと教員が最終的に確認する。
- ⑥生徒同士で練習をする。
- ⑦OBL（Online Blended Learning）にて、外国人に熊谷の文化について英語で紹介する。
- ⑧外国人から熊谷について質問をしてもらう。
- ⑨振り返りシートについて、「もっと英語で説明したかったこと」を書いて、次の時間調べる。
- ⑩前回「もっと英語で説明したかったこと」についてタブレットを使って調べる。次回に活かす。

○使用する用具
生徒用タブレット

※ICT活用
熊谷について調べる →Google, yahoo
OBL →Zoom
英語表現を調べる →Google 翻訳等





2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第1学年	総合的な学習の時間	新熊谷プロジェクト～熊谷を学ぶ～

課題事例（案）

学年	教科	単元名
第2学年	英語	外国人と英語で話そう
目標	外国人に自分の住む地域の「わが町観光プラン」を、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。（思・判・表）	

1. 学習課題

外国人と英語で話そう ～熊谷の「わが町観光プラン」を紹介しよう～

- ①教p 48 外国人からの交換留学生が行きたい場所についての英文を読む。
- ②留学生の要望に沿って、熊谷でどこを紹介できるか考える。
- ③タブレットを使って、熊谷の観光スポットを調べる。
- ④教p 49 留学生が楽しむことができる観光プランを考えて記入する。
- ⑤英文でどのように紹介するかをノートに原稿を書く。
- ⑥ノートの英文を生徒同士がチェックする。
- ⑦ノートの英文を教員が最終的に確認する。
- ⑧生徒同士で練習をする。
- ⑨OBL（Online Blended Learning）にて、外国人に熊谷の観光スポットを英語で紹介する。
- ⑩外国人から熊谷について質問をしてもらう。
- ⑪振り返りシートについて、「もっと英語で説明したかったこと」を書いて、次の時間調べる。
- ⑫前回「もっと英語で説明したかったこと」についてタブレットを使って調べる。次回に活かす。



○使用する用具

生徒用タブレット

※ICT活用

熊谷について調べる →Google, yahoo

OBL →Zoom

英語表現を調べる →Google 翻訳等

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第2学年	総合的な学習の時間	新熊谷プロジェクト～新しい熊谷の提案する～

課題事例（案）

学年	教科	単元名
第3学年	英語	外国人と英語で話そう
目標	外国人に、「熊谷」をテーマに自分が調べたことについて簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。（思・判・表）	

1. 学習課題

外国人と英語で話そう～「熊谷」をテーマに自分で調べたことを紹介しよう～

- ①総合の時間に「熊谷」をテーマに自分で調べたことについて英語でまとめる。
- ②英文でどのように紹介するかをノートに原稿を書く。
- ③パワーポイントで作成した日本語のプレゼンテーションを、タブレットを使いながらすべて英語にする。
- ④教員が英語をチェックする。
- ⑤生徒同士でプレゼンの練習をする。
- ⑥OBL（Online Blended Learning）にて、外国人にパワーポイントを見せながら、英語で説明する。
- ⑦外国人から熊谷について質問をしてもらう。
- ⑧振り返りシートについて、「もっと英語で説明したかったこと」を書いて、次の時間調べる。
- ⑨前回「もっと英語で説明したかったこと」についてタブレットを使って調べる。次回に活かす。

※指導上の留意点

- ・「通じた！話せた！わかった！」という感動をもたせるため、評定・評価はしないで形成的評価に活用していく。
- ・なるべく難しい表現を使わず、生徒たちがこれまで学んできた英語表現を活用できるようにする。

○使用する用具

生徒用タブレット

※ICT活用

熊谷について調べる →Google, yahoo

OBL →Zoom

英語表現を調べる →Google 翻訳等

プレゼンテーション作成→パワーポイント

2. 教科等・日常生活との繋がり

学年	教科等・行事	単元名・内容
第3学年	総合的な学習の時間	新熊谷プロジェクト～新しい熊谷を創造する～